



c / i c k !

情報処理センター通信

CONTENTS

- ◆ 情報処理センターからのお知らせ
 - ・総合契約版Office(個人用)提供開始のお知らせ 1-2
 - ・大学メールの添付方法変更について 3
- ◆ 情報処理センターレポート
 - ・第13回国立大学法人情報系センター協議会参加報告 4
- ◆ 編集後記 4

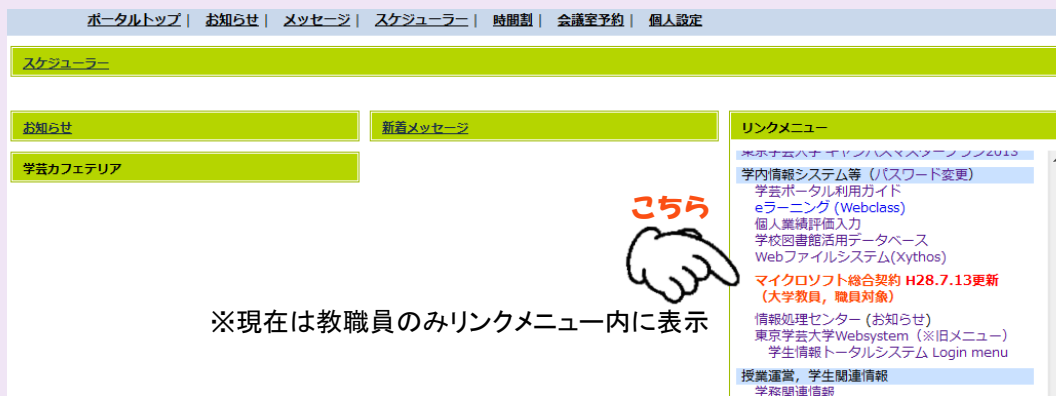
◆ 情報処理センターからのお知らせ

● 総合契約版Office(個人用)提供開始のお知らせ

Officeが個人PCで使える

個人が所有するパソコンへのOffice 365 ProPlus のインストールサービスが大学より提供されました。本学とマイクロソフト社は総合契約を締結しており、本学の教職員はWord等のOffice製品が利用可能となりました。現在は**教職員のみ利用可能、学生向けは準備中**です。

詳細は学芸ポータルリンクメニュー内の「[マイクロソフト総合契約](#)」ページを参照ください。



● Office 365 ProPlusとは？

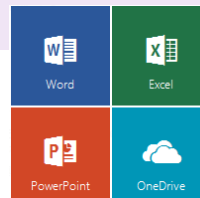
マイクロソフトが提供しているOfficeのサブスクリプション※1の一種。契約期間中のみ使えるのでレンタルのようなイメージ。契約期間中は最新のOfficeソフトウェアが利用できる。

教職員の大学メールアドレスにライセンスが付与され個人端末でOfficeが使用可能。

※1 ソフトやサービスに使用料を払い一定期間利用する利用形態

【参考】Office 365 ProPlus (マイクロソフト)

<https://products.office.com/ja-jp/business/office-365-proplus-business-software>



・総合契約版Officeの大学:学内用と個人用の違い

現在、本学では大学の管理するパソコン用(大学:学内用)と個人所有のパソコン用(個人用)の2種類のOfficeが利用できます。利用するOfficeやPCによって利用条件に違いがありますのでご注意ください。

大学・個人用の比較はこちら

	総合契約版Office(大学:学内用) 2016/4～提供開始	総合契約版Office(個人用) 2016/7～提供開始
利用できるOfficeアプリ	Windows版: Microsoft Office Professional Plus (2016・2013・2010) Macintosh版: Office Standard (2016・2011) for Mac	Microsoft Office 365 ProPlus
ライセンス利用対象者	大学教員(常勤)、事務職員(常勤・非常勤) 大学教員(特任・非常勤): 希望者のみ ※本学に在籍中のみ利用可能	大学教員(常勤)、事務職員(常勤・非常勤) 大学教員(特任・非常勤): 希望者のみ ※1 本学に在籍中のみ利用可能 ※2 学生向けは準備中
対象機器	大学で購入し大学教職員が管理しているPC	利用対象者のPC等(PC・Smartphone・Tablet) 自宅等学外のPCやSmartphoneも利用可
インストールできる台数	台数制限無し	利用対象者一人に対し各端末5台ずつ(PC5台・Smartphone5台・Tablet5台)
ライセンス認証の方法	学内ネットワークに接続すると自動認証	学内学外問わずオンラインで自動認証(初回起動時大学メールアドレスで認証が必要な場合あり)
認証しない場合の制限 ※共通	認証せず150日経過で機能制限、180日で使用不可	
ダウンロード・インストール方法	Windows版: 東京学芸大学Webファイルシステムからダウンロードしインストール Macintosh版: 情報処理センターにあるインストールメディア(DVD)からインストール	PC版: ブラウザで大学メールにサインイン後ダウンロードしインストール Smartphone・Tablet版: Google PlayストアまたはApple AppStoreからダウンロード・インストール
どんなPCにインストールするか 一例	研究室、事務室等の大学内で使用・管理しているPC	利用対象者の個人PC・Smartphone・Tablet 出張等で長期間(150日以上)学内ネット

● 大学メールの添付方法変更について

ブラウザから大学メールでファイルを添付する際、操作方法が一部変わりました。教職員の個人用メールアカウントへのOneDrive機能追加に伴う変更です。学生用・業務用アカウントでの操作や、ブラウザではなくメールアプリを使用している場合は、従来どおりの操作となります。

・大学メールのファイル添付方法変更点

※赤い数字の項目が今回増えた操作です。

1. 「新規作成」をクリックし、メールを作成します。
2. 「添付」をクリックします。
3. 画面左側の「コンピューター」①をクリックします。

「Onedrive For Business への接続中に何らかのエラーが発生しました。ナビゲーションバーまたはアプリ起動ツールから OneDrive にアクセスできます。」というエラーメッセージが表示される場合がありますが、その場合も「コンピューター」をクリックして下さい。このメッセージはOneDriveのライセンスはあるが一度も起動していない場合に表示されます。今回のケースでは、教職員アカウントでOneDriveが未使用だと表示されます。



4. 従来のファイル選択メニューが表示されますので、添付したいファイルを選択、クリックします。
5. 「OneDriveファイルとしてアップロードして添付します」と「コピーとして添付」の選択画面が表示されます。「コンピューターのファイル選択を保存」②にチェックをいれると次回以降、この画面は表示されなくなります。



6. 「コピーとして添付」③をクリックします。

以上でファイルがメールに添付されます。

● 第13回国立大学法人情報系センター協議会参加報告

2016年6月24日(金)、京都工芸繊維大学において第13回国立大学法人情報系センター協議会総会が開催され、本学からは宮寺センター長、森本准教授、および情報基盤課職員3名が参加しました。

午前中は、2つの分科会「学外とコラボレーションできる情報基盤の活用と取り組み」と「大学におけるクライアント証明書の運用事例および課題」が開催され、各会とも事例報告と総合討論が行われました。午後の総会は、文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付学術基盤整備室長(渡邊和良氏)より「学術情報基盤整備の動向について」という演題で、学術情報の流通に関する最近の動向(オープンサイエンス)・学術情報基盤(SINET5)の整備・大学における情報セキュリティ対策の強化について、国立情報学研究所長(喜連川優氏)より「100ギガ SINET5が生み出す新たな世界」という演題で、本年4月より本格運用が始まったSINET5を紹介する旨の講演がありました。その後議事に移り、議題、報告事項の後、幹事会・センター長懇談会・各地区幹事校が取りまとめた地区報告・分科会の各報告があり、意見交換や情報交換が行われました。最後に、国立情報学研究所サイバーセキュリティ研究開発センター長(高倉弘喜氏)より「大学間連携に基づくサイバーセキュリティ体制の基盤構築」という演題で、国立大学等のセキュリティ体制への支援及びサイバーセキュリティ人材育成事業についての講演がありました。

地区報告では、4月に発生した熊本地震で被害に遭われたであろう熊本大学を心配する声があり、同大学参加者よりほぼ無事であった旨報告があり、安堵する一幕もありました。

【参考】

平成28年度国立大学法人情報系センター協議会総会(京都工芸繊維大学)

<https://www.cis.kit.ac.jp/~nipc/2016/>

編集後記

国立大学法人等におけるインシデントの発生要因のうち、何が多いかご存知ですか?『誤操作』『管理・設定ミス』『不正な情報持ち出し』『紛失』『置き忘れ』『目的外利用』等で6割を占めているそうです。いわゆるヒューマンエラーと言われるものですね。近年、インシデントの発生件数は増加傾向にあります。今年度に至っては、第一四半期だけで昨年度比約2倍とのこと。このままのペースで増え続けると、今年度は昨年度よりも格段に増えると予想できます。

皆さんどこか心の奥底で「自分は大丈夫!」と置いていませんか?事実、私自身はインシデントを起こしたことはないですし、インシデントのニュースが流れると「私なら絶対やらないな」と思ったことも一度や二度ではありません。でも、いつか痛い目にあうかもしれない、と思うこともあります。一人一人が気をつければ、インシデントの減少に繋がると思います。「自分はやらない」ではなく「自分はやるかもしれない」と胸に刻み、楽しいネットライフ(古い?)を過ごしていただければと思います。

ポケモンGOに手を出そうかと思ったけど、そういえばポケモンのことあまり知らないなと思って未だ傍観中。ゲームがなくてもお出かけできるもん。(前)



国立大学法人 東京学芸大学

情報処理センター

☐TEL 042-329-7710 ☐FAX 042-329-7711

☐URL <http://www.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/>

☐E-mail ipcenter@u-gakugei.ac.jp